

データ共有化で、情報更新時の業務負担を軽減

群馬県
月夜野町農林課

農業概要

農業地域類型／山間農業地域
総農家戸数／901戸（平成12年農林業センサス）
耕地面積／541ha（平成12年農林業センサス）
農作物ベスト3
（金額ベース、平成14年生産農業所得統計・生産野菜出荷統計）
① りんご（4億7,000万円）
② 野菜（3億6,000万円）
③ 米（3億2,000万円）

〒379-1393
群馬県利根郡月夜野町大字後閑 318
TEL0278-62-2111 FAX0278-62-2291

全庁ネットワーク化の 取り組み

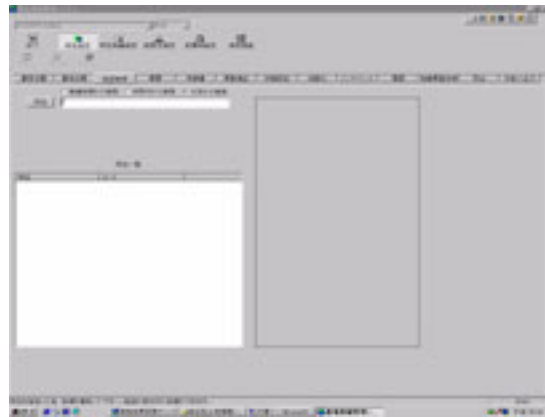
■ 経緯

平成13年度に庁内LANを構築。

市町村合併控え、システム統合を検討

月夜野町では、農地・世帯の異動が激しくなる中で、農家相談を受けても土地の所在等が容易に調べることができず、紙による農地・農家基本台帳では対応が難しくなっていたため、農地情報管理システムの導入を検討した。この際、導入後のデータ更新にかかる農業委員会担当職員の負担軽減や情報の有効利用を勘案し、全庁型ネットワーク化を図ることとした。

平成13年度に、地籍情報システムとのネットワーク接続が行われ、その後、順次システムの機能充実やデータの入力補正が継続されてきた。平成17年度以降に、隣接する2町との合併を控えており、同町の農地情報システムをベースとしたシステム統合が検討されている。



▲税務課、住民課などと情報を共有化しているシステムメニュー画面

■ ネットワーク化の内容

関係部署——総務課住民係、税務課固定資産係、税務課国土調査係

管理主体——総務課

共有データ——農家基本台帳、税務土地情報、住民基本台帳、地籍図、地形図、航空写真

システム整備の概要

■ 経 過

平成 11 年～12 年度

国土調査のデータが電算整備されていたため、この情報を生かした全庁型の農地情報管理システムを導入する方向で検討を開始。システム会社が実施する農地基本台帳および地図情報システムのデモンストレーションにも複数回、参加した。

ココがポイント！

システム化は、導入後の操作性や機能を考慮に入れながら、高望みをせず、多重投資を避けることが肝要。

■ 活用した補助事業等

単位：万円

事業名	町単	県単	国補	合計
農地情報管理システム整備事業	118.5		543	661.5
農用地利用集積地図作製システム導入事業	514.9		514.9	1029.8

平成 13 年 10 月

検討の結果、システムは地籍情報管理システム（税務課で管理）を開発した国土情報開発(株)に決定。システム構築に当たっては、税務課（固定資産税係・国土調査係）ならびに総務課（住民係）で管理しているデータを利用することとした。

ココがポイント！

全庁型のシステム構築は、農業委員会単独で行う場合に比べて、データ更新にかかる農業委員会担当者の負担が軽減されるメリットがある。

平成 13 年度末

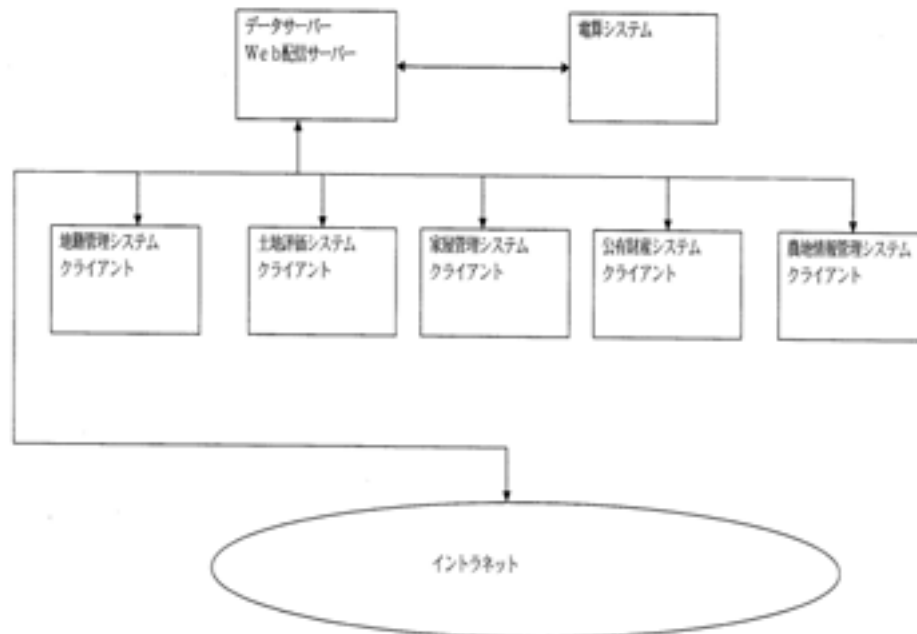
地籍情報システムとのネットワーク接続が図られる。しかし、他社が構築した住民情報システムとのネットワーク接続の是非については結論が出ず、当該情報については現在もフロッピーディスクなどの媒体でデータ交換が行われている。



平成 14 年度～

農地法に関する項目の入力を順次進めるとともに、ベースとなる土地情報をリアルタイムに情報更新した。現在、建設課とのネットワーク化のほか、市町村合併に伴う関係 2 町村とのシステム統合が検討課題となっている。

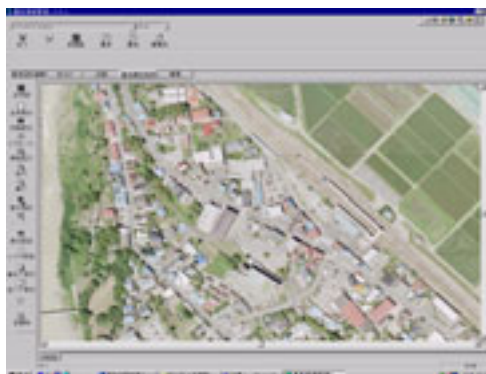
システム構成図



■ システムの活用状況

農家相談に対して、瞬時に対応

窓口での農地相談の際には、航空写真や詳細な農地情報を重ね合わせた画面により、農地の現況等が瞬時に確認できるようになっている。



▲農地の現況確認も航空写真で一目瞭然

システムの管理・運用方法

A. 管理方法

地籍図および土地属性については、地籍情報管理システムから、住民情報については群馬電算センターから媒体によって、月1回の割合で異動情報を入手し、農地台帳の更新を行っている。

B. 運用方法

情報の取り扱いについては、町条例により決められている。農地関連情報の開示は、原則として所有者、耕作者などの利害関係者のみに限定しているが、必要に応じて委任状などの資料提出を求めたうえで、対応する場合もある。

課題と展望

■ 課題

- ・ 国土調査完了後の地籍図はベクトルデータとして管理されており、システムに取り込む際、データ容量が大きくなるため、ハードのスペックを上げる必要がある。
- ・ 農地関連法令の入力項目は一通りカバーしているが、農振農用地区域からの除外の日付や水稻共済、転作の助成金など細部の異動管理が未入力となっている。

■ 展望

- ・ 地籍情報システムとはネットワーク接続されているが、住民情報等、他社システムとのネットワーク接続が図られていないため、今後、完全なネットワーク化を目指したい。
- ・ 隣接する新治村、水上町との合併が決まっているため、今後、月夜野町のシステムをベースにしたシステム統合を進める。